

ヒヤリハット事例

テーブルの上に置いてあった電気ポットを倒してしまい、体に熱湯がかかりそうになった。

種類	身体的危険: 熱湯によるやけどのリスク 家庭・日常生活におけるリスク: 調理器具や家電製品の誤操作・不注意。
場面	家庭や飲食店のキッチンやダイニング。
ヒヤリハットの状況	テーブルの上に置いてあった電気ポットを誤って倒してしまい、熱湯が体にかかりそうになった。



© 2024 mcon7.com

原因	配置の問題: テーブルの端近くに置いてあり、不安定だった。 周囲の環境: 他の物が密集していて、電気ポットに触れる可能性が高かった。 使用時の不注意: 電気コードが引っ張られる位置にあった。 電気ポットの形状: 重心が高い設計で倒れやすかった。
兆候	テーブルや台の端に家電が置かれている。 電気コードが足元や物に引っかかる状態。 使用後の片付けが雑で、安定性が確保されていない。
予防と対策	電気ポットは安定した平らな場所に設置する・テーブルの中央または壁際に置く・電気コードに引っかかったときにコードが抜けるものを選ぶ・床や足元から遠ざける・耐熱性や転倒防止機能付きの製品を使用する。
改善点と実行アクション	配置の工夫: 常設場所を決め、家族間で共有する。 製品のアップグレード: 安全性の高い電気ポットへの切り替え。